

基本目標Ⅴ 子どもが地域で育つ

- (1) 魅力ある居場所の拡充
- (2) 子育てネットワークづくり
- (3) 子どもの育ちを支える地域共生社会づくりの推進

実績報告書

事業番号	5101	放課後子ども総合プランの推進
担当課	子育て支援課、放課後子ども対策課、生涯学習課、	計画掲載ページ： 115 事業区分： 拡充

1 令和4年度事業実績

(1) 事業実績

- 令和4年度から新たに5校でランランひろばを開設し、計13校で事業を実施した。
- 区における放課後子ども総合プランを実施するため施設の整備や調整を行った。

(2) 主な経費

- ランランひろば（八雲小、菅刈小、下目黒小、中目黒小、烏森小、向原小、月光原小、駒場小、原町小、不動小、東根小、中根小、宮前小） 運営委託費 314,537千円
- ランランひろば開設準備（鷹番小、上目黒小）
開設準備業務委託費 2,018千円 備品購入費等 1,641千円

2 達成状況

(1) 事業全体

評価（5段階）
4：達成した

【評価段階の説明】

5	計画以上に達成した	2	あまり達成できていない
4	達成した	1	達成していない
3	ある程度達成した		

(2) 着眼点別

着 眼 点	評 価 （5段階）
支援の質の向上	4：達成した
量的拡充	4：達成した
区民や地域等との協働	3：ある程度達成した
区民ニーズに沿った事業運営	4：達成した
安心・安全の確保	4：達成した
社会・経済、制度変更等への対応	4：達成した

(3) 評価の理由

計画に基づきランランひろばを開設し、実施校において、児童や保護者が新たな放課後の居場所を選択できるようになり、子育て・子育てへの支援の充実を図ることができた。

3 令和5年度の事業実施内容や改善点等

令和6年4月ランランひろば開設予定校において、整備・調整を進めていく。

4 今後の課題や事業の方向性

- 小学校施設を活用する事業であることから、各実施校と緊密に連携・調整し、各実施校の方針に準じた運営を行う必要がある。
- 区における放課後子ども総合プランの事業内容や活動内容等について積極的に情報発信していくとともに、子育て支援部と教育委員会が連携し、また、地域等と情報共有や意見交換をしながら事業を推進していく。

5 コロナの影響・課題

(1) 実施状況

評価（3段階）	A：予定とおり実施した
---------	-------------

(2) 浮彫となった課題等

- 夏休みの昼食利用（持参のお弁当）は、利用要件を限定して実施した。

実績報告書

事業番号	5102	児童館の整備
担当課	子育て支援課・放課後子ども対策課	計画掲載ページ： 115 事業区分： 拡充

1 令和4年度事業実績

(1) 事業実績

碑住区地域については碑文谷土木公園事務所跡、東根住区地域については東根職員住宅跡を活用して令和4年度中に児童館としての整備を進め、令和5年4月1日から東根住区センター児童館を、令和5年4月16日から碑住区センター児童館の運営を開始した。

(2) 主な経費

工事費：（東根住区センター）160,370,100円 （碑住区センター）186,683,475円
備品費：（東根住区センター児童館）11,260,920円 （碑住区センター児童館）9,809,800円

2 達成状況

(1) 事業全体

評価（5段階）
4：達成した

【評価段階の説明】

5	計画以上に達成した	2	あまり達成できていない
4	達成した	1	達成していない
3	ある程度達成した		

(2) 着眼点別

着 眼 点	評 価 （5段階）
支援の質の向上	4：達成した
量的拡充	4：達成した
区民や地域等との協働	4：達成した
区民ニーズに沿った事業運営	4：達成した
安心・安全の確保	4：達成した
社会・経済、制度変更等への対応	4：達成した

(3) 評価の理由

碑住区地域、東根住区地域における児童館整備の決定等に基づき、児童館を整備することができたため。

3 令和5年度の事業実施内容や改善点等

令和4年度中に児童館としての整備のための工事を実施し、碑住区センター児童館、東根住区センター児童館として運営を開始することとなった。

4 今後の課題や事業の方向性

出張児童館、移動児童館、出前講座等の児童館サービス提供を継続していく。

5 コロナの影響・課題

(1) 実施状況

評価（3段階）	A：予定とおり実施した
---------	-------------

(2) 浮彫となった課題等

特になし

実績報告書

事業番号 5103	ランドセル来館の充実
担当課： 子育て支援課	計画掲載ページ： 117 事業区分： 拡充

1 令和4年度事業実績

(1) 事業実績

学校が開校している月曜日から金曜日は、放課後から児童館閉館時間（午後6時）まで利用できる。児童館開館日の土日で学校開校日は放課後から午後5時（一部の児童館で午後6時）まで利用でき、16館全館で実施している。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用登録を就労支援等で家庭に保護者が不在となる場合に利用を限定し、それ以外は個別に対応した。
月の平均利用人数 113人（1館あたり）、1日平均利用人数 7人（1館あたり）、登録者数5,764人（16館合計）

(2) 主な経費

なし。ただしランドセル来館事業に関わる消耗品を各児童館で支出している。

2 達成状況

(1) 事業全体

評価（5段階）
3：ある程度達成した

【評価段階の説明】

5	計画以上に達成した	2	あまり達成できていない
4	達成した	1	達成していない
3	ある程度達成した		

(2) 着眼点別

着 眼 点	評 価 （5段階）
支援の質の向上	3：ある程度達成した
量的拡充	3：ある程度達成した
区民や地域等との協働	3：ある程度達成した
区民ニーズに沿った事業運営	3：ある程度達成した
安心・安全の確保	4：達成した
社会・経済、制度変更等への対応	3：ある程度達成した

(3) 評価の理由

ランドセル来館は小学生の放課後の居場所の確保と学童保育クラブを補完する事業として6年生まで利用することができる。新型コロナウイルス感染拡大防止のため利用要件を限定したため前年度より利用人数等は減少した。しかし、就労等で保護者が家庭から不在となる児童の安心安全の居場所として、希望者は利用できる状況である。
就労家庭を中心に利用があり、ほぼ昨年と同様の利用があった。

3 令和5年度の事業実施内容や改善点等

新型コロナウイルス感染拡大防止対策が継続していることから、令和5年度2類該当期間中、利用要件を限定しての登録を継続する。5類に移行する5月8日より、通常（コロナ前）の利用に変更する。。

4 今後の課題や事業の方向性

放課後の居場所の一つとしてランドセル来館利用は年々増加傾向にある。感染症対策を講じながら、利用要件については状況に応じて検討が必要である。併せて、ランドセル来館の利用者増加の一因でもある学童保育クラブの待機児対策解消に向け取り組んでいくことも合わせて求められる。令和4年度は、限定的な利用としていたため、3年度同様に推移しているが、5年5月8日の5類への移行を受け、利用が増えると思込んでいる。

5 コロナの影響・課題

(1) 実施状況

評価（3段階）	A：予定とおり実施した
---------	-------------

(2) 浮彫となった課題等

特になし

実績報告書

事業番号 5104	児童館における中高生の居場所の拡大
担当課： 子育て支援課	計画掲載ページ： 117 事業区分： 拡充

1 令和4年度事業実績

(1) 事業実績

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じ、各児童館において日常の受けとめを大切にしながら、中高生向けの利用時間やスペースを確保して、中高生の利用を促進してきた。また、各児童館を会場に、ティーンズフェスタを中高生とともに企画して開催した。令和4年12月には、区民センター体育館を会場に複数の児童館が共催して、ティーンズフェスタを開催した。児童館における中高生の居場所の拡大にあたり、各児童館が様々な中高生活動に取り組み、区内公私立中学校・高校と連携してきたことで、児童館の理解をより深めてもらう機会となってきた。各児童館では、感染症対策を講じながら、中高活動としてティーンズイベントを中高生とともに企画し開催した。

(2) 主な経費

なし。ただし、中高生活動に必要な消耗品費等は各館の予算から拠出。

2 達成状況

(1) 事業全体

評価 (5段階)
3: ある程度達成した

【評価段階の説明】			
5	計画以上に達成した	2	あまり達成できていない
4	達成した	1	達成していない
3	ある程度達成した		

(2) 着眼点別

着 眼 点	評 価 (5段階)
支援の質の向上	3: ある程度達成した
量的拡充	3: ある程度達成した
区民や地域等との協働	3: ある程度達成した
区民ニーズに沿った事業運営	3: ある程度達成した
安心・安全の確保	3: ある程度達成した
社会・経済、制度変更等への対応	3: ある程度達成した

(3) 評価の理由

令和4年度もコロナ禍ではあったが、各児童館が工夫しながら中高生の居場所の拡大に努めてきた。また、ティーンズフェスタを中高生とともに各児童館が企画して開催したことで、中高生の利用の促進につなげることができた。

3 令和5年度の事業実施内容や改善点等

- ・各児童館で中高生たちが日常的な居場所として楽しく過ごすためのメニューや魅力ある企画を実施していく。
- ・中高生自身のやりがいや育て、参画することへの魅力を育てるイベントとして、各児童館を拠点としたティーンズ・フェスタに取り組む。
- ・職員の中高生への支援技術を向上させるために、各児童館の実践交流を活発に行い、各児童館の特色や魅力を活かしながら全体へ還元する。
- ・中学校や高校と児童館事業への協力関係を構築していく。

4 今後の課題や事業の方向性

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策の制限が緩和される中で、魅力ある日常運営や活動、企画を展開する。児童館から離れていた中高生層を取り戻し、新たな利用者層を拡大していく。
- ・地域の育成者や協力団体と連携し、中高生の居場所の拡大や社会参加を進めていく。
- ・関係所管と連携し中高生事業の活性化や、中高生を取り巻く諸課題に対応していく。

5 コロナの影響・課題

(1) 実施状況

評価 (3段階)	C: 縮小して実施した
----------	-------------

(2) 浮彫となった課題等

感染対策から、身体的距離や利用人数など、一定の制限をせざるを得なかった。またそうした状況から、ニーズの高かったスポーツや調理活動等についても十分な展開が困難であり、中高生たちニーズを叶えることが難しかった。コロナ対策が緩和される中で、今までできなかった活動を中高生達と共に展開し、楽しく集える場としての児童館を取り戻していく必要がある。

実績報告書

事業番号 5105	放課後フリークラブ事業の推進
担当課： 生涯学習課	計画掲載ページ： 118 事業区分： 拡充

1 令和4年度事業実績

(1) 事業実績

ランドセルひろば及び子ども教室の円滑な運営のため、ランドセルひろばや子ども教室に参加する児童への対応方法に関する講演会を実施し、研修内容の充実を図った。また、子ども教室事業では、区報への掲載、チラシの作成・配布、パネル展示行い、事業の周知をするなど事業の拡充を図った。

1 「ランドセルひろば」事業
 【実施回数】 小学校9校
 【延実施日数】 1,313日
 【延参加児童数】 86,657人

2 「子ども教室」事業
 【実施団体】 17団体
 【実施回数】 1,001回
 【延参加人数】 13,762人

(2) 主な経費

ランドセルひろば事業運営経費（報償費・消耗品費）：10,112千円
 子ども教室運営委託経費：12,820千円

2 達成状況

(1) 事業全体

評価（5段階）
4：達成した

【評価段階の説明】

5	計画以上に達成した	2	あまり達成できていない
4	達成した	1	達成していない
3	ある程度達成した		

(2) 着眼点別

着 眼 点	評 価 （5段階）
支援の質の向上	4：達成した
量的拡充	3：ある程度達成した
区民や地域等との協働	4：達成した
区民ニーズに沿った事業運営	4：達成した
安心・安全の確保	4：達成した
社会・経済、制度変更等への対応	4：達成した

(3) 評価の理由

ランドセルひろば管理運営員及び子ども教室委託団体関係者に向けて、実践的な内容の研修を実施し、充実を図ることができた。
 また、子ども教室事業においては、子ども教室未実施の小学校の関係者への働きかけを行い、1校で子ども教室を開設した。

3 令和5年度の事業実施内容や改善点等

継続して実施する。

4 今後の課題や事業の方向性

ランドセルひろば及び子ども教室では、管理運営員や委託団体関係者の更なるレベルアップのため、研修等の充実について引き続き努めるとともに、学校や関係所管と連携、協力して円滑な運営について検討していく。
 子ども教室事業では、放課後子ども総合プランの進捗状況を踏まえ、更なる実施小学校区の拡大及び教室内容の充実を図っていく。

5 コロナの影響・課題

(1) 実施状況

評価（3段階）	A：予定とおり実施した
---------	-------------

(2) 浮彫となった課題等

特になし

実績報告書

事業番号 5201	民間による子育てふれあいひろばへの支援		
担当課： 子育て支援課	計画掲載ページ： 120	事業区分：	新規

1 令和4年度事業実績

(1) 事業実績

引き続き感染症対策を取りながら、安心して気軽集えるひろばとして親子に利用してもらった。保護者向けイベントや保健師等の相談会、救命講座やミニコンサート等を実施した。一時預かりのニーズも増えている状況である。
地域子育てふれあいひろばの公募については、年2回（6月、10月）募集を行い6月1社、10月2社応募があった。選考の結果、令和5年1月と4月に2か所の開設となった。

(2) 主な経費

【運営費補助、3か所】
補助金 23,391,257円
(そのうち新型コロナウイルス関連経費として975,007円)

2 達成状況

(1) 事業全体

評価（5段階）
4：達成した

【評価段階の説明】

5	計画以上に達成した	2	あまり達成できていない
4	達成した	1	達成していない
3	ある程度達成した		

(2) 着眼点別

着 眼 点	評 価 （5段階）
支援の質の向上	4：達成した
量的拡充	4：達成した
区民や地域等との協働	4：達成した
区民ニーズに沿った事業運営	4：達成した
安心・安全の確保	4：達成した
社会・経済、制度変更等への対応	4：達成した

(3) 評価の理由

ひろばの事業者は、引き続き感染症拡大防止のため工夫をしながら、不安を抱える親子が気軽に安心して利用できるように運営を行った。
新たなひろばの整備については、事業者が応募しやすい方法にスケジュール等を見直しを行った結果、応募があり2か所の開設となった。

3 令和5年度の事業実施内容や改善点等

現在運営している民間による子育てふれあいひろばに対して継続して補助を行う。また、5年度も実施事業者の公募を行う予定となっている。

4 今後の課題や事業の方向性

民間による子育てふれあいひろばの公募について令和4年度に検討した事項を、引き続き検証していく。
また、民間事業者の柔軟な対応により広がりをもせた事業活動を踏まえ、区と民間の相応の特色を活かした重層的な子育て支援へとつなげていく。

5 コロナの影響・課題

(1) 実施状況

評価（3段階）	C：縮小して実施した
---------	------------

(2) 浮彫となった課題等

コロナ禍で安心して外出し、ひろばを利用してもらうよう対策を講じながら乳幼児親子の心の拠り所として、地域に根付いていく必要がある。

実績報告書

事業番号 5202

児童館や学童保育クラブ（単独施設）における乳幼児活動

担当課： 子育て支援課

計画掲載ページ： 120

事業区分： 拡充

1 令和4年度事業実績

(1) 事業実績

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、乳幼児クラブは5月～3月に、とべビー活動は9月～3月に、定員を設けて活動を限定した。
乳幼児のつどいは、5月～3月に実施した。
上目黒児童館子育てふれあいひろばで、子育て講座、土曜日のパパひろばを4月～3月に実施した。
単独施設学童保育クラブでの乳幼児活動は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休止した。
乳幼児の一般利用(定員制、予約制)を継続した。

(2) 主な経費

講師依頼にかかる報償費、乳幼児クラブ等に必要な消耗品費は各館の予算から拠出。

2 達成状況

(1) 事業全体

評価（5段階）
4：達成した

【評価段階の説明】

5	計画以上に達成した	2	あまり達成できていない
4	達成した	1	達成していない
3	ある程度達成した		

(2) 着眼点別

着 眼 点	評 価 （5段階）
支援の質の向上	3：ある程度達成した
量的拡充	3：ある程度達成した
区民や地域等との協働	3：ある程度達成した
区民ニーズに沿った事業運営	3：ある程度達成した
安心・安全の確保	4：達成した
社会・経済、制度変更等への対応	3：ある程度達成した

(3) 評価の理由

乳幼児クラブ総登録数 706組
べビー活動総参加数 1217組
子育てふれあいひろば講座 参加数 5組
子育てふれあいひろば パパひろば
総参加数 98組（うち父親50人）
参加者からは、コロナ禍でのつながりや、居場所を求める声が多く寄せられ、感染対策を行いながら、年間通した実施ができた。
乳幼児クラブの組数減少は、保育園利用の家庭が増えている背景があると考えられる。

3 令和5年度の事業実施内容や改善点等

令和5年度については5月から3月まで実施する。5月8日からの感染症5類移行に伴い、利用制限などは解除とする。
児童館運営指針の改定に伴い、切れ目のない子育て支援の新規事業として、妊婦の受け入れ事業（乳幼児事業への見学や体験参加など）を実施していく。

4 今後の課題や事業の方向性

地域の中で子育てがしやすい環境作りや人とのつながり作りを進めるために、利用者のニーズを把握し、魅力的な活動内容を提供する。
家庭や子育て環境も多様化しているため。母親だけでなく父親やその他の保護者も参加、参画できる事業の内容や実施日の充実を図る。
妊婦の受け入れ事業の実施に向けて、保健予防課の保健師に講師を依頼し、より丁寧な対応が出来るよう職員研修を実施する。

5 コロナの影響・課題

(1) 実施状況

評価（3段階）	A：予定とおり実施した
---------	-------------

(2) 浮彫となった課題等

マスクの着用などの感染対策が取りづらい乳幼児の活動は、一定の制限をせざるを得ない状況が3年続き。子育ての悩みを抱えたり、居場所を求めて児童館へ来る利用者が増えてきた。子どもの育ち、保護者の子育ての孤立化や虐待等の未然防止のために、感染対策解除後も実施方法や安全対策などの更なる工夫が必要である。